

基本施策評価シート

基本施策最終評価
B

基本施策通し番号 15

基本施策 幹線道路網の整備
 構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	国道158号の整備促進	C
施策2	国道157号大野バイパスの整備充実	A
施策3	国道476号や主要地方道などの整備促進	B

成果指標

指標	内容	令和2年度 目標	令和元年度末 実績	単位	令和元年度の成果の検証
国道158号境寺・計石間の供用開始	境寺・計石間の全線供用開始	供用開始	詳細設計、 用地取得 (一部)、道 路改良工 事	-	用地取得を終えた大宮町地係などでは、盛土工事や羽生川に架かる橋梁2箇所の橋台工事に着手し進捗が図られた。
西部アクセス道路の供用開始	西部アクセス道路の供用開始	供用開始	供用開始 済	-	平成30年9月に供用開始となり、市街地へのアクセス利便性が向上した。
都市計画道路中保中野大橋線の整備	中挟交差点から国道157号までの県道整備事業着手	事業化	事業化	-	令和2年度の事業化へ向け準備が進められた。

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。 ・国道157号大野バイパスは、大野インターチェンジから市街地への交通を分散導入させるとともにスムーズに中心市街地へ誘導するための重要道路であり、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備が必要である。 ・国道476号西部アクセス道路は、福井方面からの交通を市街地に誘導するために重要な道路であり、早期の整備が必要である。 ・(都)中保中野大橋線については、事業未着手であり、早期の事業化が必要である。
課 題	国道158号境寺・計石間の一日も早い整備、国道157号大野バイパスの中部縦貫自動車道永平寺大野道路の平成28年度の供用開始に合わせた整備、国道476号の早期の整備が必要である。

社会情勢・市民ニーズの変化

中部縦貫自動車道の全線開通を見据え、一般国道157号大野バイパスから市街地へのアクセスルートとなる(都)中保中野大橋線の早期完成を図る必要がある。

現在の「現状」と「課題」

現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は大野市と福井市を結ぶ通勤や物流、防災、救急救命上重要な道路であり、朝夕の渋滞緩和や安全・安心の確保のため、一日も早い整備が求められている。 ・国道157号大野バイパスは、未整備区間であった中保・吉間約1.1キロメートルが平成28年9月に完成し、国道157号バイパス全長4.6キロメートルが全線供用開始となっている。 ・(都)中保中野大橋線は、令和2年度に事業化される予定。
課 題	・国道158号境寺・計石間の速やかな用地取得と本格的な工事着手。

基本施策の「成果」

成 果	・用地取得を終えた大宮町地係などでは、盛土工事や羽生川に架かる橋梁2箇所の橋台工事に着手し進捗が図られた。
-----	-------------------------------------------------------

改善点

・国道158号境寺・計石間については、早期に用地取得を完了するとともに着実に整備を促進し、令和5年度末までに供用できるよう引き続き国道158号改修促進期成同盟会や福井市と連携して、県に早期完成を働きかけていく。